



NAMAZU BIYORI

NO.14



今号の監修人

Tetsuro Tauchi

田内 徹郎 | 鯉組監督・三十日部長

特集：こだわりの二世帯住宅に挑む

今号の
鮫職人

Tetsuro Tauchi

田内 徹郎 | 鮫組監督・三十日部長

田内徹郎(34)。鮫組の監督。周囲からの信頼も厚く、若い鮫の兄貴分。クールな印象とは裏腹に、話すとき意外とひょうきんな一面も。頭の中から爪先まで、田内徹郎の人物像に迫ります。

※三十日(みそか)とは月に1度社員をねぎらう飲み会のこと。三十日部長は飲み会幹事のことです。

FACE

強面だけど?!
よく話しかけられる



田内さんで現場でよく話しかけられますよね?何か心がけていることはあるんですか?

田内:現場ではご近所さんとのコミュニケーションは特に大切にしています。近隣の方の顔をなるべく覚えて挨拶する!とか基本的なことですけど、俺たちは完成したら終わりだけど、お客様にとってはずっと続いていく人間関係だから、やっぱりそこは気をつけるようにしています。近隣とのコミュニケーションの部分まで考えて接するって、思い入れがないと出来ない仕事の仕方でもあると思うね。やっぱりお客様と直接やり取りして仕事するのは大きいですね。

HANDS 図面を書く手で釘を打つ

田内さんは、設計しながら現場も入っているんですが、率直にどうですか?

田内:率直にいうと大変です。“設計”専門であれば①設計=思いをつめこむ②工務店に見積もりを取る=現実を知る③調整していく、というステップを踏むことが可能なんですけど、自分たちは実際の“ものづくり”に落とし込んだ時のお金・時間・物の感覚がわかる分、①のタイミングですべてに調整がかかってしまう時があります。それはとても真摯な家づくりだと思う反面、夢のある提案ができてないんじゃないかと悩む時は、ありますね。

なるほど、施工に関わっている分、構造や予算を一旦度外視して考えるということが難しいと。

田内:そうですね「あーそれ構造上不安ですよ」とか「予算とコストが合わないのだからこれは難しいです」って話が最初の方から出てしまう。家づくりの現実がわかっているのがうちの強みでもあるしそれでいいとも思ってるんですけど、お客様に「ダメなことばかりでつまらないなあ」と思われていないか心配になりますし、気をつけなければと思います。

BRAIN

頭のなかに浮かんだ
「何か違うなあ」に忠実に

田内さんは芝浦工業大学の大学院を出ていますよね。その後どういう経緯で鮫組へ?

田内:アトリエ系設計事務所設計のバイトをはじめ、そのまま設計事務所勤務で働こうと思っていましたが、「何か違うなあ」って思いたったんです。その「何か違うなあ」を漠然と抱えていた頃、たまたま蕎麦屋で大工さんと相席になって。何気なく大工さんと話をしたところ、その大工さんに大工技能試験用の講習会に誘われたんです。その講習会に約半年間通ううちに「おお、大工すげーな」と思うようになりました。それで大工になろうと思ったんです。その後修行先を探したところ、同じ大卒の人が社長をしている工務店に入社を許されて、そこで5年修行しました。修行中も「いつか設計をやりたい」という思いを社長にも伝えていたら、ある日「そういうノリの会社があるよ」と鮫組を教えてくださいました。

今に至ると。

田内:そう。でも鮫組の人たちって「なんか違うと思った」ってみんな言うんだよね。みんないつも色々考えて「なんか違う」って思って鮫組に来る。そういう奴の集まりなのかもしれない。

FEET 田内徹郎の足下

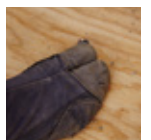
田内さんは将来のビジョンはありますか?

田内:ビジョンというか、独立はいつかするんだろうなと思っています。でもまだ勉強中です。

奥様が設計をされてるんですよね?いずれ二人でとか…

田内:そうですね、「あなたと一緒に仕事したくない」ってすに言われてますから(笑)。追々考えます。まずは目の前の仕事をしっかりやって成果を積み重ねて行こうと思います。

ありがとうございました。



参加者募集

あなたの知らない地元を食べに来ませんか？

マチクイ食堂OPEN

マチクイ食堂とは??

まちづくりのきっかけになるような、食と文化を提供する食堂。要町周辺エリアで買うことができる美味しい食材を使ったお料理や、あのお店の看板メニュー、隠れた名店など、地域のお店を紹介する1夜限定の食堂です。また食事の他に、ゲストスピーカーによるトークライブも実施。これからの要町周辺エリアの暮らしやまちのことについて考えていこうと思います。

【第一回目のテーマ】

大工トーク **一ものづくりからまちづくりへー**

話し手 | 大工 岸本 耕

建築事務所総組代表で大工。芝浦工科大学建築学科卒業。在学中に名棟梁田中文男氏を知り、在学中より大工修行を始める。その後2004年に独立。古民家の移築などを手掛ける。その後も大工として学んだ技術と設計の知識を生かし、古い家の修復や、古い建具を新築に取り込んだ家など、技術とデザインを生かした家づくりを行っている。2010年、事務所の1Fにカフェ「なんてんcafe」をオープン。「総組の家で暮らし」が想像できる広報スポットとして、またまちづくりの拠点となるようなカフェを目指して活動している。

場所: なんてんcafe

日時: 6月25日(水)19:00 OPEN ※定員10名です
参加費: 2,500円

(テーマにそったお食事・ワンドリンク・おみやげ付き)

お申し込み: カナメマチカラfacebook

(<https://www.facebook.com/kanamemachi>)

お電話 (03-5986-1087)

メール (info@nantencafe.com) 馬把真理子(マガマリコ)まで。

※ドリンクは持ち込み可です。たくさんお酒を召し上げる方は是非お持ち込みください。

※収益の一部は、総組・なんてんcafeが行うまちづくり活動「カナメマチカラ(仮)」の活動資金とさせていただきます。



かななが知らない
すてきなお店
まじまじこの町に
たくさんあるよ



写るとは違う
遠くからでも
この町はいいよ



仕事が終わったら
この町で一杯飲んで
帰りたいな

マチクイ スタッフ募集

当日マチクイスタッフとして
お手伝いして下さる方。
次回マチクイの企画から手
伝いして下さる方。募集し
ております!興味のある方は、
なんてんcafe 馬把(マガ)
まで。是非一度お問い合わせ
ください。

なんてんcafe

なんてんcafeは総組の運営するカフェです。「食卓から暮らしを考える」を方針に、おいしいご飯とくつろぎの空間を提供しています。住宅のセールス等は一切ございませんので、ぜひ私たちの仕事と雰囲気をご偵察にお越し下さい。



総日和編集後記

総日和vol14も無事に発行することができました。ありがとうございました。総日和は総組が大工のこと、職人のこと、私達の仕事のこと、私達の言葉で届けようと発行しているフリーペーパーです。ご意見、感想などいただけることも励みになります!これからもよろしくおねがいいたします。

Facebookページもやっています。

こちらは

総 facebook

で検索ください!



インターネットを

鯨の小窓

を検索!

総組OFFICIAL WEB MAGAZINE

「鯨の小窓」開いています!

総組のスタッフがブログ形式で

日々更新中。家づくりの裏側やイ

ベント情報など盛り沢山です!

ぜひお立ち寄りください。

お問合せ

TEL : 03-5986-1081 FAX : 03-5986-1082

メール : office@yoshikawano-namazu.com

住所 : 〒171-0043 東京都豊島区要町 1-10-7

アクセス : 有楽町線・副都心線「要町」駅2番出口
(エレベーター) 徒歩1分